

古河歴史見聞録

行平と成氏

古河と鎌倉をつなぐキーパーソン

現在も残る「下河辺庄」

小学6年生の時、修学旅行で鎌倉へ行きました。鶴岡八幡宮や鎌倉大仏を見て、歴史情緒あふれる街並みに感動しっぱなしでした。古河と鎌倉の歴史ぶかーいつながらにも知らずに…。

今回は古河と鎌倉の歴史をつなぐキーパーソンのうち、こちらの二人を紹介します。

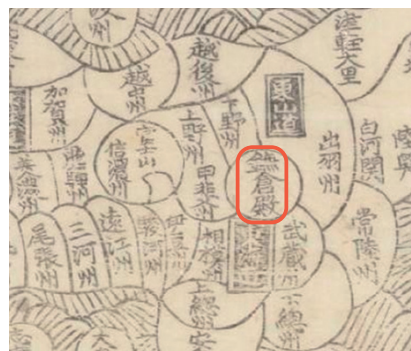
源頼朝に仕えた弓の名手

鎌倉といたら、鎌倉幕府を開いた源頼朝を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。実は、彼に仕えた武士の中に、古河に大変ゆかりの深い人物がいます。その人物は「日本無双の弓取り」と言われた下河辺行平。

鎌倉幕府が編纂した歴史書『吾妻鏡』には、頼朝が行平を弓の名手とし、自身の寝所の警備を任せたり、頼朝の息子、頼家の弓の師匠に任命したりするなど、行平に関する数々のエピソードが掲載されています。頼朝にとって行平はとても頼りになる存在だったようです。



▲「下河辺(辺)庄」と書かれている坂間の庚申塔



▲古河に位置する「鎌倉殿」(東京大学史料編纂所蔵「海東諸国記」より抜粋)

関東の将軍 古河公方

お次は、室町時代の人物。初代古河公方足利成氏です。古河公方は公園の名前になっているので、聞いたことのある人も多いのではないのでしょうか。

成氏は、鎌倉公方5代目として関東と東北の一部を統括していましたが、補佐役である関東管領の上杉憲忠とうまくいかず、憲忠を鎌倉西御門の御所に呼び出し、殺害してしまいます。室町幕府は、成氏を国家の敵として討伐軍を差し向け、約30年にもおよぶ長い長い戦いを繰り広げることに(享徳

の乱)。

成氏は関東各地で戦う中、わがまち古河に拠点を移します。ここに古河公方が誕生するわけです。

古河公方がもたらしたもの

成氏が古河に移って以来、5代約130年にわたり古河は東国の政治・文化の中心地となりました。横山町にある神宮寺や尊勝院など、成氏とともに鎌倉から古河へ移ったと伝わる寺社や、鎌倉から勧請して建てたと伝わる寺社もあります。古河公方の誕生により、古河のまちは、政治的にも文化的にも大いに発展したのです。

小学6年生の頃、この二人を知っていたら鎌倉で何を感じていたのか。ちゃんと勉強していたらよかったな。

鎌倉と古河の関わりを紹介した企画展「鎌倉から古河へ」。10月10日～11月23日まで開催しています。

この秋、歴史を学ぶおち修学旅行に出かけてみませんか。

古河歴史博物館学芸員 齋藤莉瑚

【一般書/随筆】

作家と住まい

平凡社編集部 編

ほっとできる部屋、理想の住まい、懐かしいあの家。

野田洋次郎、永井荷風、角野栄子、ジェーン・スー、妹尾河童、氷室冴子、万城目学、若山牧水など作家たちの住まいへのこだわりを堪能するエッセイ、詩、漫画のアンソロジー。

出版社…平凡社

【絵本】

りおのおりがみ

由美村嬉々 文
室井さと子 絵

いつもおりがみを折っている、ひいおばあちゃん。りおは、つるの折り方を教えてもらって…。認知症になり施設に入ることになったひいおばあちゃんとひ孫のささやかな心の交流を描いた絵本。

出版社…あすなろ書房

【一般書/小説】

劇場という名の星座

小川洋子 著

白杖の父が遺した「屋根の上のヴァイオリン弾き」のパンフレットには、新人案内係からの手紙が挟まれていて…。

「ホテルさんへの手紙」など帝国劇場を舞台にした豊富な物語、全8編を収録する。

出版社…集英社

【児童書/読み物】

マユ12歳、鍛冶屋でくらししています。

福田隆浩 著

学校へ行けなくなってしまったマユ。環境を変えるためにやってきた、山あいの鍛冶工場で出会ったのは…。

「学校の中」だけが世界じゃない！ 学校へ行かないことを選択した12歳のマユが新たな世界を見つける物語。

出版社…あすなろ書房

図書館の本棚から



古河図書館



古河MBC RISING
(ミニバスケットボール)

チームデータ

▼活動日

火・水・金曜日：18時～20時、
土・日曜日、祝日：9時～12時

▼活動場所

古河第一小学校、古河第三小学校

▼問

諏訪雄一

Mail : koga.mbc.rising@gmail.com

